



竹山地区地域福祉保健計画意見交換会の意見をまとめてみました。どうぞお読み下さい！

地域福祉保健計画地区意見交換会って？

平成17年度に作成される地域福祉保健計画を「できるだけ地域の意見を吸い上げて現実的な計画にしよう」という趣旨で11地区で開催しました。

竹山地区はいつどこで行われたの？

平成16年8月7日(土)と9月11日(土)の2回、竹山小学校コミュニティハウスで行いました。

だれが何人集まって話し合われたの？

1回目28名、2回目32名で地域の様々な立場の方が参加されました。

どんな話し合いがすすめられたの？

1回目は地域で困っている様々な問題、課題を出し合いました。

2回目は1回目に出てきた問題について、具体的にどんなアイデアで解決できるかを話し合いました。

なお紙面に限りがあるため、出された全ての意見を掲載できませんでした。ご了承下さい。

まずは、竹山の将来像について、各グループで語り合ってみました。

こんな竹山地区だったらいいな～

世代をこえて気軽に楽しく交流のできる竹山！！ 顔の見える竹山
世代を越えて、さりげなく助けあえる街。 みんなでつくろう、誰もが「安心」してらせる「竹山」

1 高齢者の孤立化を防ぐためには・・・



困っていること

介護認定を受けていない高齢者の外出の機会の減少、出て行く場所がない。

閉じこもっている高齢者がいる。一人暮らしが多くなり、一日話をしていない人が多い。

💡こんなアイデアが出されました

1 気軽に外出できる体制をつくる。

- ・気軽に集まれる場所、溜まり場があると良い。食事会などのお楽しみの会があると良い。
- ・高齢者が共に支えあえるグループ作り。

2 イベントの企画をする

- ・得意な趣味知識のある人がする。
- ・色々な趣味の指導者が中心となって集まれる様にする。 ・挨拶運動日等をきめる。
- ・仲良しグループによる「何々大学」が沢山できたら、参加できる場が増えるではないか。
- ・目的を持ったグループで20名程度が理想的。
- ・お祭りの準備でお年寄りの活躍の場を設けると良い。(日程等の企画の工夫)

2 子育て世代への支援や異世代の交流をすすめるためには・・・



困っていること

世代を超えた信頼関係がもてていない。若い世代の高齢者に対する尊敬の気持ちが低い。高齢者など、いろいろな世代で交流できる場所がない。

こんなアイデアが出されました

- 1 子育て支援に老人会の協力を頼んではどうか
- 2 子育てに悩む母親が独立しないよう、元母親のボランティアグループができたらよい。
- 3 子どもや高齢者が一緒に交流できるような地域の魅力的なイベントがあるとよい。
- 4 世代を超えていろいろな人が出て行きやすい交流することのできる居場所を作っていく。
- 5 育て世代とおじいちゃんおばあちゃんのふれあいの場が欲しい。助け合いにつながると思う。
- 6 若い人-高齢者などの話合いの場があるとよい。場所・曜日を固定して設定すると誘いやすい。
- 7 孫をつれて散歩中、若いお母さんと話し、考えを聞く事をしている。今後も続けたい。
- 8 ゴミだしを含め、高齢者や若いお母さんが困っている事を小学校・中学校と連携をとって交流する事で色々な問題の解決策が出てくると思う。お互いを知る機会にもなる。

3 ボランティアの活動の活性化と人材不足にたいするアイデア・・・



困っていること

ボランティアが不足している。特に、団地の階段にエレベーターがついていない、手すりがついていないなどの実態があり、階段の昇り降りがつかなくて外出しにくい高齢者のための介助に男性の力が必要。

竹山ではボランティアがそれぞれよくやっていると言われているけれど、横のつながりがなく、独立している。コーディネートが充実していないためボランティアの力が活かされていない。

こんなアイデアが出されました

- 1 人材の地域資源の発掘が必要。
- 2 ボランティア活動の担い手、若い人の参加が欲しい。
- 3 「竹山の男性よ力を貸して！！」
男性をうまくボランティア活動に取り入れるためには
 - ・ スポーツサークル（野球、ソフト、サッカーなど）に声をかけ、ボランティアを募る。
 - ・ 男性の趣味のグループをつくり組織化して男の出番「竹山版」をつくる。
- 4 全般的なボランティア不足を解消するためには
 - ・ ボランティアの核となる人が必要なので、自治会、学校関係（PTA）で活動している人をボランティア活動に活かすなど、リーダーの育成とスタッフの養成の活動の継続。
 - ・ ボランティア講座のような、育成研修をボランティアグループで実施してはどうか。
 - ・ 自治会運営委員会等で出会った人が参加するとよい。
 - ・ 趣味のサークルの人たちにボランティアの声かけをする。
 - ・ 親子で参加するボランティア活動をする。
 - ・ 夫婦で参加できるボランティア広報をする。
 - ・ 送迎を地区社協などのボランティアで協力できないか。

その他

地域福祉保健計画策定に必要なこと！


「自分たちでできる事は極力自助努力。その後に行行政協力。」

4 近所付き合いを中心にした地域のつながりを強くするアイデア

困っていること



近所との交流がない。高齢者は新しい人間関係を築くのが難しい。
外に出て行けない人がいて、孤立している人が多い。自分から発信する人がいない。
階段でのつきあいは以外と少ない。階段でも顔がわからない人がいる。

 こんなアイデアが出されました


- 1 高齢者のマップづくり。顔の見えるまちが実現すれば解決するのではないか。
- 2 孤立してしまう人をふやさない。・近所どうして協力しあえる地域にしていく。
- 3 身近なところより始めるしかない。
- 4 一人暮らしの方で家にとじこもっている人が、何かやりたいが誰にも相談できないと聞いたが、竹山ではいろんなクラブがあるので、やはり PR 不足なのだと思う。
- 5 竹生クラブという誕生会、お楽しみ会などに参加すれば話しをすることができる。
- 6 一人暮らしの話相手や困った時の相談相手になる。自治会等でもっと誘えば参加すると思う。
- 7 民生委員さんが定期的な訪問をして、話し相手になる。
- 8 地区社協、自治会より声かけしてもらいたい。
- 9 独居の方の鍵を預けるのは民生委員の方はできないか？(緊急時に連絡できる民生委員が誰かわからない。)
- 10 顔をあわせたら挨拶ができるようにしたい。「おはよう」「いい天気ですね」などのあいさつ、声かけ。
- 11 お互いが感謝しあえる地域づくり。
- 12 勇気を出して助けて欲しいことを声に出してみる。「～しましょうか?」「～してもらえますか?」
- 13 誰もが出ていきやすい雰囲気をつくる。共同でつくっていく。
参加しやすい趣味などの簡単なグループ作りをして誘い合う。例：折り紙など
- 14 階段の関係づくりから始めてみる。(それぞれが)
階段の人々の協力、付き合い。階段で何かやる。実践例：引っ越しのある人の送別会、転入した人の歓迎会を実施。階段で年賀式を毎年やっている。年末年始の掃除をするよう声かけをしている。
- 15 若い人たちが地域の中に積極的に参加してみたくなるような街になるよう、若い人の地域行事への参加を図る。
 - ・自治会行事に若い人を企画段階から参加してもらう。
 - ・リタイア組みの元気な男性が美化デーや防犯パトロール等積極的に参加すれば、知り合えるし、次の行事にもつながる。
 - ・親子で遊べる企画など若い人が参加できる行事を組み込む事も大切だ。
 - ・昔からの行事を頑張って引き継ぎしていく。

5 治安のよいまちづくり、防災・防犯の体制の問題にたいして

困っていること



災害時の体制が住民に伝わっていない。避難訓練のあり方。防犯パトロールの強化方法。

 こんなアイデアが出されました

- 1 災害対策の訓練と知識の向上。防災資機材の認識と取扱いなどを取り入れた非難訓練をする。
- 2 防犯・防災対策のPRを兼ねての高齢者宅への訪問活動。防犯パトロール(安全なまち)の実施。年間を通じてパトロールを続けることができないか。
- 3 子どもの防犯と高齢者の防犯対策を同じものとしての団体をこえての工夫と連携。

6 地域での情報提供・相談窓口などの情報不足と共有に対するアイデア

困っていること



身近に相談できる窓口がない。相談先がわからない。

担当の民生委員さんがわからずだれに連絡していいかわからない。

回覧板が家族全員に周知されていない。相談しやすい関係性が築けていない。



こんなアイデアが出されました

- 1 小さな悩みや疑問等気軽に問い合わせられて適所へ紹介してくれる拠点があると良い。

7 ゴミ出しの問題にたいして・・・

困っていること



高齢者の方でゴミ出しにも困っている方がいる。各階段の方の手助けがほしいが、誰に話していいかわからない。ゴミを出せない一人暮らしの人にゴミを出す体制づくりができていない。小さい子どもがいて、家においていけない母親や、近所に知り合いがいない母親もゴミ出しができずに困っている。

ゴミ出しを事業者(ヘルパー)としてやっている場合は、介護保険がパンクする。



こんなアイデアが出されました

- 1 高齢者は階段の外にゴミを出しておいて、できる人が出す。
- 2 ささいな助け合いの部分、ゴミ出しなどにお金を介在させる方法はないか。
- 3 小学校と自治会で話し合いをして、朝学校に行く前に、高齢者の戸口よりゴミ置き場へ持って行くようにする。
- 4 学校教育で子ども達に手伝ってくれるよう指導したらどうか。ゴミ出し日に必ず玄関に出してもらえば、安全確認にもなる。

8 災害時の高齢・弱者の救援対策について・・・

困っていること



地域の関係性が希薄しているなかで、高齢独居者が増加しているが把握が難しく、孤立化していると部屋で倒れているなど緊急時の対応ができない。



こんなアイデアが出されました

- 1 独居高齢者の安否確認のシステム作りが必要。
- 2 電気ポットを使用した時、安否が確認できるようなシステムがあって、手軽に利用できると良い。
- 3 マップづくりに向けての活動を開始している。
マップ作成時は、プライバシーの問題があり、情報の管理の徹底が必要。そのためには、信頼関係を大事にする。民生委員もプライバシーの問題があって活動しにくい。
マップをつくるにしても関心のない人、わかっていても忙しいなどで活動する人がいないとできない。できればいろんな世代の人が入ってできると刺激しあえて良い。(マップ作りを通して異世代の交流も図れる。)
- 4 竹山地区の自治会、社協、老人会の幹部とのこういう意見交換が必要と思う。
- 5 竹山地区のケアプラザの実現に向けて、自治会又は地区社協が中心になって署名(陳情用)を集めてはどうか?
- 6 ケアプラザをつくり、その中で子育て、障害者、高齢者の問題を解決する。
- 7 地区社協をもっと活発化する。